

11月10日
大雨被害

阿寒川に洪水警報、大楽毛・阿寒北町の全域に避難指示



北町で道路への浸水をポンプで排水

前日から降り続いた大雨で、阿寒川に洪水警報が発令され、大楽毛地域と阿寒町北町地域の全域約1700世帯余りに避難指示が発令されました。

北町では、阿寒川からの溢水（いっすい）で道路に水が押し寄せていました。（左の地図を参照）村上議員が現地に到着すると、行政センターの職員や建設会社の社員などがすでに対応で大あわわ。村上議員は作業する人たちにお礼を言いながら、心配そうに道路に出ていた住民から被害の様子を聞いて回りました。

北町地域で溢水被害発生

阿寒町北町近くの溢水か所を調べてみました。下の写真のあたりが溢水した場所と思われます。数メートル水位が上がれば、簡単に浸水を起こしてしまいそうな感じです。一応、浸水防止で土嚢が並べてありますが、それも一段のみ。異常な水量となったら、止めることはできそうにありません。



阿寒川の河口付近でも大変な増水が見られました。上の写真は、まりも団地から大楽毛橋を望む方向を撮ったものです。いつもは広く河川敷がありますが、今回は、河川敷全部が水でいっぱいになっていました。

被災者からは、「今後の見通しがわからず不安だ」などの声をいただき、情報提供のあり方など、考えるべき点もあるようです。

また、避難指示の対象世帯に比して、実際の避難者がほんの一部にとどまっていたことも、今後の課題としなければなりません。

阿寒川の洪水対策を繰り返し提言してきましたが、被害が繰り返される場所もはつきりしており、そこへの重点的な対応を強く求めていきます。

その後、避難所が設置された阿寒町行政センターと大楽毛の高専、ポリテクセンター、大星会館をたずね、直接、被災者を見舞いました。

車いすの方や一歳の子どもの連れの方も避難していて、みなさん一様に心配の表情を浮かべていました。避難所の職員は、感染防止用具を準備、昼食にカレーライスとミネラルウォーターを配り、アルファ米のわかめごはんを用意したりと、忙しく動き回っていました。

被災者からは、「今後の見通しがわからず不安だ」などの声をいただき、情報提供のあり方など、考えるべき点もあるようです。

また、避難指示の対象世帯に比して、実際の避難者がほんの一部にとどまっていたことも、今後の課題としなければなりません。



玄関前にはいち早く土嚢が積まれていました

この地域はたびたび、阿寒川の溢水が発生するところ。河道の改良も行われていたが、結果として、まだ十分ではないという事です。

住民の中には、「何度も被害が出ているのに、行政はなにをしているのか」など、厳しい意見を寄せる方もおられました。

村上議員は、これまでも

村上かずしげ通信

2021.11.21 発行 日本共産党釧路市議団 23-5212